

大人たちから子どもたちへ
「家庭」という贈りもの

もっと、日本に。特別養子縁組



ワタシもアナタも、そして
すべての子どもは
愛してくれて、守ってくれる
存在が必要です。

もし、産んでくれた人が
どうしても育てることができなかったら
ワタシたち大人は、そして社会は
すべての子どもが
あたたかい家庭で育つために
何ができるのでしょうか。



0歳0ヶ月0日

子どもの虐待死の中で最も多いのは、0歳0ヶ月0日の赤ちゃんです。この中には思いがけない妊娠が多く含まれています。

0歳



産みの親が
育てられない
赤ちゃんのうち
9割近くが
乳児院へ

3歳



乳幼児期は愛着形成や脳の発達に重要な時期とされており、国連のガイドラインでも特に3歳未満の子どもは家庭を基本とした環境で養育されるべきであると記されています。

乳児院の退所後
5割が家庭復帰し、
3割が施設へ



日本の子どもたちにもっと家庭を。

社会的養護の必要な子どもの

約15%

5,400人が
家庭的な環境で暮らしています。

世界的には家庭での養育が主流となる中で、日本ではその割合がまだまだ少ないのが現状です。産みの親が育てられない子どもたちが家庭で育つ方法は2つあります。



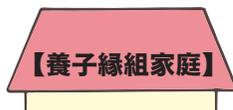
一方、6組に1組の夫婦が不妊で悩んでいるとも言われています。家族のあり方のひとつとして、里親や養子縁組への関心が高まっています。



【里親家庭】

約15%

里親は一定期間、家庭の中で子どもを養育する制度です。親権は産みの親にあり、里親は18歳になるまで家庭的な環境を提供する役割を果たします。



【養子縁組家庭】

約0.8%

養子縁組は、産みの親の元に戻ることが出来ない子どもに永続的な家庭を提供できる方法です。育ての親（養親）は親権をもち、法的な責任を持って育てることになります。

社会的養護の必要な子どもの

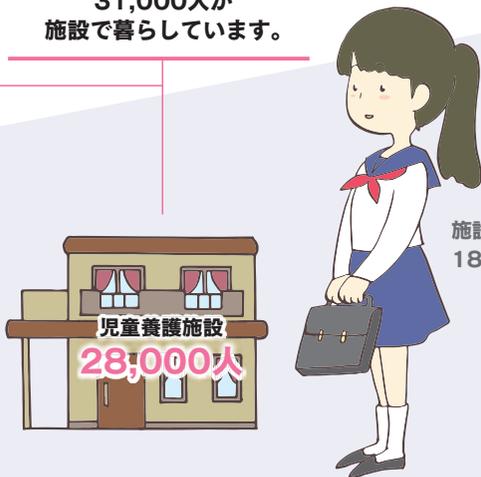
約85%

31,000人が
施設で暮らしています。

18歳

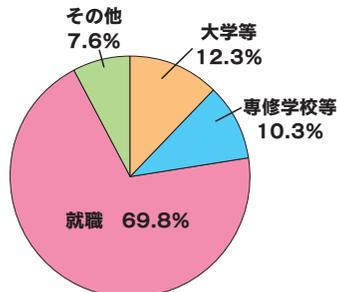
退所後の経済的な苦勞が多い。
夢をかなえるためにもう少し支援がほしかった。

20歳で成人するまでの2年間、
アパートの賃貸、携帯の契約、パスポートなど保護者の同意がないと難しい。



施設を出ると、
18歳で社会へ

児童養護施設の子どもの 高校卒業後の進路



一般の大学等の進学率53.2%に比べて進学率が4分の1程度に留まっています。

子どものための 特別養子縁組を知っていますか？

特別養子縁組とは、何らかの事情で産みの親の元で暮らすことができない子どもに永続的な家庭を提供するための子どもの福祉を目的とした制度です。



特別養子縁組は、1987年の民法の改正により、従来の養子縁組制度（普通養子縁組）に加えて導入された制度です。普通養子縁組は家の存続や相続など様々な目的で行われてきましたが、特別養子縁組は保護を必要とする「子どもの福祉」を目的としています。

普通養子縁組との主な違いは、産みの親の親権が終了すること、戸籍上の表記が養子・養女ではなく実子と同じになること（長男・長女など）、原則として子どもの年齢が6歳までしか認められないことなどです。

項目	特別養子縁組
目的	産みの親が子どもを育てるのが困難な場合などに「子どもの福祉を図る」ため。
養子の年齢	申し立て時点で原則として6歳未満。
養親の条件	婚姻している夫婦で、ひとりが25歳、もうひとりが20歳以上であること。
縁組の手続き	家庭裁判所に申し立て審判を受けなければならない。
成立までの期間	6か月の試験養育期間後に審判。
産みの親との関係	産みの親との親子関係がなくなり、法律上も養親とだけ親子関係になる。
戸籍の記載	長男・長女など。
相続権	産みの親の相続権は消滅。

子どもを迎えたいと思ったらどうすればいいの？

民間の養子縁組団体か、行政機関である児童相談所のどちらかに相談することになります。民間養子縁組団体とは、産みの親が育てられない子どもと子どもを迎えたい夫婦をつなぎ、養子縁組の仲介をしている団体や医療機関です。養子縁組の仲介には第二種社会福祉事業の届け出が必要となります。それぞれ

の団体で養親となるための条件、審査の方法、費用負担に違いがあります。

児童相談所は子どもの福祉を担当する行政の窓口であり、児童相談所を通じて養子縁組を希望する場合は、養子縁組を前提とした里親登録をすることになります。詳細はお住まいの地域の児童相談所でご確認ください。

■特別養子縁組 成立までのプロセス

研修

審査

登録

マッチング

委託

\\voice1\\

血のつながり!?

子育てをしていて感じるのは、
血がつながっている、
つながっていないということよりも、
もっと大事なことがある、
ということです。
一緒に生活していく中で、
形ではなく、感じるものがあるのです。
血縁というものは、
今の生活をしていく中で、
あまり関係のないことだと思います。

\\voice3\\

どんな背景の子どもにも 家庭を！

私の息子はダウン症のために、
日本人の養親には迎えられませんでした。
私のような外国人が
この子を養子としなければ、
彼は児童養護施設で子ども時代を
過ごさなくてはならなかったかも
しれません。
障がい、年齢、産みの母の生い立ちや
病気などに関わらず、どんな子どもでも
養子として迎える日本人夫婦が
たくさん出てくることを願っています。



\\voice2\\

産んでくださった方へ 感謝！

以前は、「血のつながりの無い子を
心から愛せるだろうか」と
不安もありましたが、
いざ養子を迎えてみると、
本当に可愛くて、心底、私たちの
子どもだと思えることに、
我ながら驚いています。
私たちの喜びの背後には、
産んで下さった方の苦悩や決断の
あったことをいつも覚え、
感謝しつつ、託されたこの子を
大切に育てていこうと
身の引き締まる思いがしています。

特別養子縁組をした家族の声



家庭裁判所への
申立て

成立

思いがけない妊娠で誰にも相談できずに悩んでいるアナタへ…… 一緒に考えてくれる ひとたちがいます！

自分を責めて
いませんか？

周囲からの
責める声・反対に
傷ついて
いませんか？



この妊娠、誰にも言えない…。

知られたくない…。

悩んでいるうちにお腹が大きくなり、
精神的にも追い詰められているかも
しれませんね。

でも、あなたとあなたの
赤ちゃんにとって一番良い方法を
一緒に考えてくれる人たちがいます。

安心して、まずは相談してみてください。

＼ひとりで悩まないで！／

“子どもを産んで自分で 育てることを選んだ女性の声”

妊娠がわかったとき悩みました。中絶はしたくなかったし、両親に認めてもらおうと説得を試みましたが、両親は結婚も出産も大反対。養子縁組団体や妊娠中の避難場所をネット検索しました。シングルマザーか養子縁組するか出産ぎりぎりまで悩みましたが、産んだらとても可愛くて、シングルマザーになろうと決心しました。頑固だった両親も赤ちゃんに会いに来てくれて可愛がってくれました。赤ちゃんの力はすごいです。

“子どもを産んで 養子に出した女性の声”

娘を産むまで考え続けました。自分で育てられるようになるまで施設に入れるという選択肢もありましたが、会いたい時だけ会いに行くというのは親の身勝手だという気がしたのです。養子縁組で娘がこれほど強く待ち望まれていたことを知り、娘が幸せになれると実感できたのが大きかったです。

“民間支援団体からの声”

困難な状況にある妊娠中の女性たちが助けを求めてくるとき、養子縁組について話します。中絶を思いとどまり、赤ちゃんを産み、養子縁組を選択する女性が出てきます。特別養子縁組は母親と赤ちゃんの両方に、そして新しい両親にも希望と未来を与えます。それは命を選ぶことであり、死ではありません。



日本財団ハッピーゆりかごプロジェクトのウェブサイトでは、妊娠相談窓口の情報を提供しています。

<http://happy-yurikago.net/>

子どもを迎えたい、と思っているご夫婦へ……



絵：うごこ

先輩養親からのメッセージ①

養子として迎えた家族でも、何も変わりません。同じ子育て家庭。名前は「特別」かもしれませんがいたって「普通」です。

先輩養親からのメッセージ②

「人の親になる」ということに本気になってみてください。その思いは、みなさんすでにお持ちだと思うのです。恐れることはありません。一步を踏み出してほしいと思います。

先輩養親からのメッセージ③

血がつながっている、つながっていないということよりも、もっと大事なことがある、ということです。血のつながりというものを過大に捉えて、恐れる必要はありません。



ハッピーゆりかごプロジェクトとは？

特別養子縁組や里親制度のさらなる普及により、生みの親と暮らすことのできない子どもたちが、あたたかい家庭で暮らせるようになる社会を目指すプロジェクトです。

養親への働きかけ

- ・情報の提供
- ・養親子交流



社会への働きかけ

- ・イベントやシンポジウムによる周知啓発活動、養子の日キャンペーン
- ・ホームページ等での情報の提供

支援者への働きかけ

- ・妊娠相談窓口の強化
- ・民間団体への資金提供

行政への働きかけ

- ・政策提言
- ・調査研究など
- ・民間連携の推進

※ハッピーゆりかごプロジェクトは社会の啓発や情報の提供を目的としており、養子縁組の仲介はしておりません。養子縁組を希望される方や思いがけない妊娠の相談については、ホームページをご確認のうえ、各自で民間団体や児童相談所へお問い合わせください。

日本財団ハッピーゆりかご
プロジェクト

ホームページ

<http://happy-yurikago.net/>

問い合わせ

日本財団コールセンター

03-6229-5111

メールアドレス

tokubetsu_youshi@ps.nippon-foundation.or.jp